

**APEC地域のビジネス界のリーダー達は、アジア太平洋自由貿易圏に
向けた連携を通して、より強固な経済統合を要請する。**

(APEC参加国・地域は金融及びソブリンリスクを防ぐために断固たる行動を取り、貿易・投資の自由化を追求し、ボゴール目標の達成に向けた堅固な成長軌道を維持しながら、より強固な経済統合を促進すべきである)

2012年7月19日
ベトナム、ホーチミン

APECビジネス諮問委員会（ABAC）委員であるビジネス界のリーダー達は、9月にウラジオストックでAPEC首脳に提出する提言を、今週ホーチミン市でまとめた。世界経済はいまだ脆弱で、アジア太平洋地域は深刻な経済の下振れリスクにさらされていると、ビジネス界のリーダー達は指摘している。欧州の債務危機再燃が世界経済の成長への主たる脅威として懸念され、保護主義の台頭も見られる。

「地域経済統合とボゴール目標の達成は、今もABACの最優先課題である」と2012年ABAC議長のアブドゥル・マゴメド氏は語った。「ABACはアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）に向けた実質的な前進を求め、FTAAPへの全ての道筋が、包摂性、透明性、包括性という基本原則を反映することを要請する」。

上記を背景に、ABACは「熱意を現実へ」をテーマとし、地域経済統合と金融市場の安定、サプライチェーンとインフラの発展、食料及びエネルギーの安全保障、能力開発を含む革新的発達や中小零細企業の成長に焦点を当てている。

ABACは域内サプライチェーンの更なる発展、障害への取組み、国際的なデータ標準とサプライチェーンにおけるインフラ技術の活用拡大を要請する。2010年から2020年にかけて、アジア太平洋の各国・地域では約8兆ドルがインフラ投資に必要となり、この需要レベルは民間部門の実質的な関与無しには不可能なレベルである。ABACはAPECが域内の投資環境を、強力な投資原則と保護を採用することで改善していくよう提言する。

食料安全保障の問題は引き続きAPECビジネス諮問協議会の優先課題である。ABACはAPEC食料安全保障政策パートナーシップ（PPFS）の第1回会合が本年5月にロシア、カザンで開かれたことを歓迎し、その作業計画を支持する。ABACの助言によりPPFSの長期目標は2020年までに食料システム体制を構築することであり、これはAPEC参加国・地域の持続的食料

安全保障を提供する。革新的成長の振興は引き続きABACの重要な課題である。効果的な技術の普及、都市開発でのエコ/リビングシティ・アプローチ、エネルギーの効率的な使用などがイノベーションの主要な推進力となる。

ABACは中小・零細企業（SMME）を革新的成長に基づいた近代経済の中心的存在とみており、中小企業の国境を越えたビジネス開発機会の認識を高めるために、様々な情報通信技術ツールの活用を含むキャパシティ・ビルディング・イニシアティブを提言する。

この多様な課題を実行するために、アジア太平洋の地域経済統合、経済成長と繁栄をもたらす手段と方法を特定するにあたり、ABACはAPEC参加国・地域の首脳を支持するために、あらゆる努力を惜しまない。

以上